

## 花き市場でもハロウィン商戦が本格化 ～ かぼちゃ大市開催、その他秋商材も勢揃い ～

### ハロウィン商戦が本格化 花き市場に秋の到来

秋のイベントとして広く定着したハロウィンは年々盛り上がりを増し、近年バレンタインやホワイトデーを超えて、クリスマスに次ぐほどの経済効果があるとされています。そして、花き業界にとっても大きな需要期となっています。

ハロウィン飾りの主役とも言えるかぼちゃ（観賞用）は多種多様な色や形をしたものが花き市場に入荷しています。また、それと併せて秋を感じさせるススキや紅葉・実物の枝物などの秋商材が出回り始め、彼岸が過ぎた花き市場は一気に秋の装いとなります。

大田市場の大田花きでは9月5日から中央通路のセリ入口にて「ハロウィンフェア☆2016」と題し、北海道や千葉、静岡などの観賞用かぼちゃ、ススキ、ケイトウ、実物枝物、栗の実などハロウィンや実りの秋を感じさせる商材が展示・紹介されています。

さらに、大田花きでは9月26日(月)、FAJでは9月30日(金)に、それぞれ「かぼちゃ大市」が行われ、「アトランティックジャイアント」や「コネチカットフィールド」という巨大サイズのかぼちゃから、ミニサイズや変わった色、形のもの等数多くのかぼちゃの競り売りが行われました。また、競り売り開始前には仮装した販売担当者が登場し、会場を盛り上げる姿も見られました。

今年は、北海道や東北の主産地を中心に曇雨天が続いたことからかぼちゃが乾きづらかったため、へた部分に腐りが発生したものが多くとのことでした。



大田花きでの展示



多種多様なかぼちゃ



コネチカットフィールド  
(写真中央は直径約70cmのもの)



かぼちゃ大市 (大田花き)



「実りの秋」を感じる商材  
(写真はソラナム、カナリヤナス等)

### 年々盛り上がるハロウィンイベント 本県からもかぼちゃが出荷

ハロウィンは年々盛り上がり増しており、大田花きではかぼちゃの取扱量が増加傾向にあります。特に人気があるのは家庭でも飾りやすい手のひらサイズのミニかぼちゃで、本県でも各産地から出荷があり、中之条町六合地区では「クニマル」という商品名でミニかぼちゃを生産・出荷するなど、観賞用かぼちゃの一産地として関係者に認知されています。



手のひらサイズのかぼちゃ「クニマルオレンジ」